

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

「糖尿病、食事、未来」

代謝・内分泌研究部

大村卓也 副部長

2026年9月17日（木）15時10分～
第1研究棟2階大会議室

勤務医として診療にあたっていると、入院の適応ではないものの、自宅での生活が続けることも難しい患者さんに、しばしば出会う。

わが国の医療提供体制は病院・病床を中心に組み立てられてきたが、こうした患者さんが抱える生活上の課題は、治療や入院だけでは支えきれない。いま問われているのは、病気を治すことに加え、病気を抱えながら暮らし続けることを、どう支えるかである。

こうした課題に向き合ううえで、糖尿病をはじめとする慢性疾患の治療とケアは、医療と生活をつなぐ重要な起点となる。さらに、食事や運動を通じた健康増進のあり方を科学的に検証し、社会に実装していくことにも、大きな価値がある。

しかし、治療行為を中心とする現在の報酬体系は、予防や生活支援の価値を十分には捉えきれていない。本セミナーでは、こうした問題意識を出発点に、直近の取り組みを紹介する。